公益財団法人秋田県女性会館情報誌

プラッL

＝第２８号＝

発　行　（公財）秋田県女性会館

発行日　平成２９年１２月２８日

平成２９年も暮れようとしています。自然災害や事件･事故、海外の国々との関連ニュース、国内の政治･経済、生活に関わることやオリンピック開催に向けてのニュースなど、多種多様なニュースに気の休むことのない１年だったと思います。

秋田県女性会館では、公益財団法人になって５年になり、生涯学習講座５１、生涯学習特別講座６、キャリア形成支援講座３、女性の健康づくり講座１など、６０を超える講座を開催することができました。また今年度は、男女共同参画シンポジウムを開催することができました。たくさんの皆様からご協力・ご支援いただきましたことに、心から感謝申し上げます。

秋田県女性会館主催で「男女共同参画シンポジウム」開催

平成２９年１１月２１日（火）午後１時から３時３０分まで、アトリオン７階で「語ろう！ネットワークの力」～団体･グループの力で男女共同参画推進～をテーマに、秋田県女性会館主催の「男女共同参画シンポジウム」が開催されました。コーディネーター佐々木孝氏、コメンテーター北林真知子氏、シンポジスト佐藤加代子氏、烏トキヱ氏、三橋由美子氏でした。

シンポジウムに先駆けて、秋田県女性会館の調査研究報告があり、「男女共同参画社会の実現は道半ばであり、前進の歩みを止めてはいけない」「男女共同参画の意識を高める学習が必要なので、団体・グループのネットワークを大切にしよう」と髙山万紀子代表理事が報告しました。

シンポジウムでは、男女共同参画社会の実現には、互いに男女共同参画への意識を高める必要があること、男女が互いに意見を言える関係であることが大事で、その姿を子どもに示していくべきであること、子どもや若者への教育が重要であること、各団体が顔を合わせ、お互いの活動を認識し合うことが大切であること、男女共同参画を推進している団体・グループの情報交換が必要であることなどの意見が述べられました。

平成２９年１０月の国際調査報告によると、ジェンダー・ギャップ指数が、調査国１４４か国中、日本は１１４位であることから考えても、男女共同参画推進の歩みを止めてはいけないことを確認し合いました。

※シンポジウムの記事は、11月29日の秋田魁新報に掲載されました。

＜平成２９年度女性会館フェアのお知らせ＞

（公財）秋田県女性会館では、１年の学習の成果を発表します。多くの皆様においでいただきたいと願っております。

○ ショー部門（ステージ発表）
　開催日　平成３０年３月２４日（土）
　会　場　アトリオン４階　音楽ホール

○ 展示部門
　開催日　平成３０年3月２９日（木）～３１日（土）
　会　場　アトリオン２階　美術展示ホール

＜ 現地見学をしました＞

「たてもの探訪の旅講座」で、秋田市のねぶり流し館の隣にある「旧金子家住宅」を見学しました。商家の木造建築の技に触れ、感動の多い楽しい見学になりました。

アトリオンで講座を開こう！

秋田県女性会館は、生涯学習の場を提供し、一人ひとりが充実したワーク･ライフ･バランスを目指し、心豊かな生活をおくるための自己啓発を支援します。

新しく講座を開きたい、また、既存の講座をアトリオンプラツLに引っ越したい等のご相談を伺います。
アトリオン6階（公財）秋田県女性会館にお気軽にお申込･お問合せください。

（公財）秋田県女性会館 プラツL
秋田市中通二丁目３－８ アトリオン６F
TEL ０１８－８３６－７８４０
FAX ０１８－８３６－７８８６

★★情報提供、よろしく★★

１回か２回の体験講座を開催してほしいというご希望がありましたら、お知らせください。

（例）
・健康寿命と運動
・健康寿命と食事
・パステル画
・絵本づくり
・フォークソング
・シャンソン
・簡単な服づくり
・琵琶の演奏鑑賞
・ポーセラーツ
・スケッチ絵
・身近な野草茶
・その他
・老後の経済
・大人の塗り絵
・ワインの話
・絵日記
・日本酒味巡り

＜ プラツL ニュース＞

「一先会書道展」で美しい筆文字に感動！

１１月下旬、アトリオン２階の美術展示ホールに行きました。その日は、「一先会書道展」をしていました。
かな書道の小松紫峯先生の作品や女性会館の講座受講者の作品も展示されていました。かな文字の美しさに感動させられました。
展示ケースの中には、小松紫峯先生の受賞作品が展示されており、賞状が添えられていました。作品を鑑賞しながら、温かい幸せな気分になりました。

鎌田和子先生、文部科学大臣表彰 おめでとう！

女性会館のフラダンス講座講師、鎌田和子先生が、長年の活躍が認められて、文部科学大臣から表彰状を授与されました。おめでとうございます。
女性会館でも、長年ご指導してくださっています。感謝申し上げます。
今後ますますのご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

～つ ぶ や き～

親子で見ましょう。「漫画 はまなすはみた」

夕方、秋田駅前や広小路通り県立美術館前のイルミネーションを眺めて、美しさに感動しました。テレビでは、あしかがフラワーパークやハウステンボスなどのイルミネーションが紹介されていました。美しい光景を見て幸せを感じることのできる世の中が末永く続きますようにと願う気持ちになりました。
そして、数日後、机の引き出しに入っている漫画「はまなすはみた」（作画：佐藤清勇、監修：佐々木久春）を手に取りました。土崎空襲のときのお話です。
空襲を受けたときの地上の人々の様子が分かりやすい絵で表現されています。東京空襲や広島や長崎の原爆投下のことも織り込まれており、絵本『新 はまなすはみた』（絵：佐々木良三 詩：佐々木久春）より引用されたページもあり、心が揺さぶられました。
忘れたころに読み、また忘れたころに読み返しておりますが、読みっぱなしでもかまわないので、老若男女、特に親と子には読んでほしいと思いました。
（※ 文中の佐々木久春氏は、秋田県女性会館 歴史文学講座の講師です。）

厳しい冬になりそうですが、ご健康に留意され、お元気でいい年をお迎えください。